

編輯室內外

國民總動員運動がさげばるるが其の目標とする處は曰く戰意昂揚曰く戦力増強曰く食糧確保曰く國土防衛と善哉言ふ處唯食糧は確保に止まらず増産して之が配給量を増加すること

▲日曜日の返上は形式に止まつてはならぬ、日曜日を返上すべしと云ふに先だち、仕事の簡易處理に關し懇切に執心に研究すべきものがないであらうか、形式も事に依り時に取つて必要ではあるが更らに掘り下げて考慮すべきもの少からざるを認めるので眞剣に思ひ廻らさねばならぬ問題である。

▲發明界の權威者であるジョン・ハモンドが獨逸軍が現在無電爆彈を使用して居るのは單に試験的なものに過ぎない、其の眞の威力は今後現はれてくるだらう。獨軍がこの爆彈を完成すれば艦隊の立場は全く危殆に瀕する即ち今後戦局で艦隊對無電爆彈の戰爭が重く役割を演ずべく而かも此の場合に無電爆彈が艦隊に對し勝利を収める可能性が十分に在ると恐るべきかな無電爆彈の威力よ。科學戰爭とも謂ふべき這次の戰爭は何處まで兵器の進歩を計ることであらう。

▲運輸通信省では這次電波局を新設し電波統制に關する事項、電波技術に關する事項、標準電波並に標準電波施設の建設及保存に關する事項、無線電氣通信及其附帶業務に關する事項を統一掌理することとなつた。寔に適當な措置である、遅かりし憾はある、とにかく

電波に關する監督事項が電波局に吸收せらるることは當然の事である。

▲男子に代つて官公衛に女子が事務員となつたものがある、男子禁職でさうなつたが女子は非能率的と云はるるは普通の非難で、書類の整理は勿論鐵道の出札機などは其の甚しいものがあつて許せない仕事遊びと混同しておる、連中が食堂へ五、六人伴つて行く、執務時間中に化粧室へ行く者が少なくないと言はる、一人の不心得が萬人に及ぶ、心すべきことである。

▲蔬菜生産と出荷とは最も急速に取運ばねばならぬ、買出し部隊や關取引は場合によりては配給量の欠乏、不足乃至備在に困り食ふべき副食物なき點に止むを得ざるに出でたる主婦達の苦惱から生起することが少なくない、故に之を禁制するに先だち先づ蔬菜類の生産出荷の増加を計る様政府當局者は努力すべきことだ、配給が公平に正しく、潤澤少くとも公正にすれば禁ぜずして關取引も買出しも自ら消滅するであらう。

▲「役得」は役目の上で受ける當然の權利の如く心得て、公平無私に配給すべきに、普通配給量を故意に減少し又は餘分に配達された量をごまかし私用に供したくない、配給所員や町會長や群長などが少なくなるとの事である。米、甘藷、酒、魚、野菜、菓子、果物等に著しいので之が爲に「關」取引を助長し、更らでだに不足勝ちな現今一層不平不満を感じしむることである、増産々々の要求があるも増産の敵は此の「關取引」と「役得」とである。警察あた

り之等を一層取締る法はなきものにや。

▲俗名銀蠅の卵から殺菌劑を製造する科學化された新らしき蛆療法が滿洲醫科大學藤浪備一博士外科の研究によりて陸軍々醫大尉濱本定夫氏の助力によりて發明せられた、夫は化膿症ならば蛆よりの排出物を創面につけると効果あるとの事、毒を以て毒を制するとは斯様なものか、とにかく簡單な治療法である。

▲水戸市に程遠からざる太田町郊外源氏川に架する桃源橋は義光源光園公の西山莊の入口に至る小橋であるが去る十六年の洪水に破壊し假橋を架したのであるが今度決戦下に相應したる木橋ながら高欄に五條の橋の牛若丸を偲ばせるやうな擬寶珠を取付けた一橋を竣工した。泉下の義公はさぞ喜んでおられることであらう。(洗)

定價一部 五十圓
 一ヶ年分 六十圓

東京都麹町區霞關一丁目内務省
 發行所 社團 道路改良會
 電話銀座 3710 四二七
 振替口座番號東京 2526

東京 赤坂區 水川町 一七
 發行所 平井良成
 編輯者 東京 都小石川區 諏訪町 五六
 印刷所 (東京三〇) 株式會社 菅野印刷所
 印刷者 奈良直一

五四〇〇二二號番員會出版本日

昭和十二年一月二十三日第三種郵便物認可
 昭和十九年四月二十五日印刷納本(毎月一回)
 昭和十九年五月一日發